

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	ヴォーカルVI	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	40時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	前田祐佳			実務経験の有無・職種	有 俳優・歌手		
学習目的							
この科目においての目的は、体を使った声の出し方、楽譜の読み解き方などを学びながら、卒業後の活躍の場で、自身の持てる力を最大限に発揮できる精神力も備えられるような学習をすることである。							
到達目標							
各々が、自身の課題(問題点)を克服できるようにすること、そのことにより、自分に自信を持てるようにする。さらに、自身のコンディション（良い時、悪い時）を熟知し、あるラインに達成できるように調整することができるようになることを目標とする。声がうまく出た時と、出なかった時の体の状態を自身でよく観察し、違いを理解する。そのことにより、自身で修正できる力をつける。							
教育方法等							
授業概要	全員で進めていく内容と、個々を見ながら進めていく内容と2通りを行う。「声を出す」ことだけではなく、「姿勢」「周りとの距離感」「言葉に対する表現力」など、色々な角度からズームして、課題をクリアしていくことを目指す。						
注意点	全員で進めていく時、個々で進めていく時、どちらの場合においても、積極的に参加して、行動すること。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題曲	70%	課題曲の理解と実技において評価する。				
	平常点	30%	授業態度や出席状況によって評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	姿勢(立ち方)について			緊張をほぐし、声を出しやすくする			
2回	ストレッチ			自身の音域を知る			
3回	発声①			体を使って無理なく声を出せるようにする			
4回	発声②			困難な音域を出せるように工夫する			
5回	発声③			自身で修正する方法を考える			
6回	発声④			課題曲の楽譜の音符、記号などを理解する			
7回	課題曲①			楽譜を音名で歌うことができるようにする			
8回	課題曲②			歌詞をつけて歌唱することができるようにする			
9回	課題曲③			歌詞の意味を理解する			
10回	課題曲④			歌詞の言葉から思い浮かぶイメージを発表する			
11回	課題曲⑤			イメージを表現につなげていく			
12回	課題曲⑥			課題曲を歌唱する			
13回	発表①			課題曲を歌唱する			
14回	発表②			歌唱についての感想を述べる			
15回	まとめ			歌唱についての感想を述べる			